

製品名: DAAM1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09773**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	123kDa

抗原情報

遺伝子名	DAAM1 KIAA0666
別名	Disheveled-associated activator of morphogenesis 1
遺伝子 ID	23002.0
SwissProt ID	Q9Y4D1
免疫原	アミノ酸範囲 400~500 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

背景

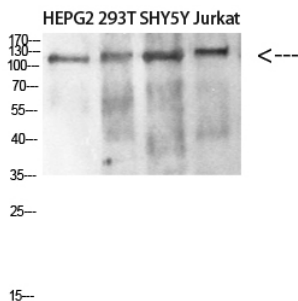
細胞運動、接着、細胞質分裂、そして細胞表層のその他の機能は、アクチン細胞骨格の再編成によって媒介され、いくつかのフォルミン相同性 (FH) タンパク質がこれらのプロセスに関連付けられている。この遺伝子によってコードされるタンパク質は2つのFH

ドメインを含み、細胞極性に関与する新規 FH タンパク質サブファミリーに属する。細胞骨格構造の重要な調節因子である低分子 GTPase Rho は、発生過程において Wnt/Fz シグナル伝達によって活性化され、細胞の極性と運動を制御する。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、Wnt 誘導性の disheveled (Dvl) -Rho 複合体構築のための足場タンパク質として機能すると考えられている。このタンパク質はまた、新しいアクチンフィラメントの核形成と伸長を促進し、微小管の安定化を通じて細胞増殖を制御する。選択的スプライシングにより、異なるドメインをコードする複数の転写産物バリエーションが生じる。C 末端の DAD ドメインは、N 末端との分子内相互作用に関与する可能性がある。機能: disheveled (Dvl) および Rho に結合し、Wnt 誘導性の Dvl-Rho 複合体の形成を媒介する。Rho-GDP および Rho-GEF をリクルートするための足場タンパク質として機能し、Rho-GTP の形成を促進する可能性がある。新しいアクチンフィラメントの核形成と伸長を誘導することができます。類似性: フォルミンホモロジーファミリーに属します。類似性: 1つの DAD (透過性自己調節) ドメインを含みます。類似性: 1つの FH1 (フォルミンホモロジー 1) ドメインを含みます。類似性: 1つの FH2 (フォルミンホモロジー 2) ドメインを含みます。類似性: 1つの GBD/FH3 (Rho GTPase 結合/フォルミンホモロジー 3) ドメインを含みます。細胞内局在: 核周囲。サブユニット: ホモ二量体。CIP4、FNBP1、および FNBP1L と相互作用します。Abl、BTK、エンドフィリン、スペクトリン、および SRC の SH3 ドメインと相互作用します。GTP 結合型 CDC42 および RHOA に特異的に結合します。組織特異性: 調査したすべての組織で発現しています。

研究分野

WNT;WNT-T 細胞

画像データ



SW480 MCF7 ライセートのウェスタンブロット分析、抗体は 500 倍希釈。二次抗体は 1:20000 倍希釈。